

V 標準化会議の事業計画

1. 概要

平成 22 年度は、経済環境も一段落したので国内外の標準化活動を例年レベルにもどして進める方針である。

会員ニーズに沿った規格づくりを進めている国内標準化活動では J I S 2 規格、J S M A 3 規格の新規、改正制定等に取り組む。

国際標準化活動では ISO/TC227 ばねの国際規格開発を継続して行い日本提案の「ばね記号」等の原案作成作業を推進する。11 月に大阪で開催される第 6 回 ISO/TC227 ばね国際会議に参加し原案審議を行う予定である。

2. 活動の詳細

2. 1 国内規格関係

2. 1. 1 J I S 規格関係

- 1) 国際規格が発行されたことに伴い J I S 整合化作業を行う目的で B 0 1 0 3 「ばね用語」の改正原案作成委員会活動を平成 23 年 2 月まで実施する。
- 2) 平成 22 年度後期 J I S 原案作成公募制度を活用し B 2 8 0 8 「スプリングピン」の改正を申請する。申請の採択を前提として 1 2 月以降の活動を計画する。
- 3) 平成 23 年度 J I S 原案作成公募制度を活用し B 2 7 1 1 「ショットピーニング」の改正を申請するよう計画する。

2. 1. 2 自動車技術会（J A S O）規格関係

本年度も引続き要素部会、車体・シャシ部会の活動に参加し小改正作業を進める。

2. 1. 3 日本ばね工業会（J S M A）規格関係

本年度も各部会は年度計画に基づいた J S M A 規格の新規及び改正制定、見直し等を推進する。熱間成形ばね部会からは改正 1 規格、機能規格部会からは新規及び改正の 2 規格が制定発行される予定。

2. 2 国際規格関係

2. 2. 1 政府制度の活用

下記の政府制度を活用し、ばねの国際標準化活動の推進を図る。

(1) 国際標準開発

中国提案の「熱間成形圧縮コイルばね」、日本提案の「ばね記号」の ISO 規格化を図る。

(2) 技術協力事業

マレーシアの標準化活動をさらに活性化させることを目的に研修を 10 月頃実施予定。

2. 2. 2 ISO/TC227 ばね関連の国際標準化活動

(1) 第6回 ISO/TC227 ばね国際会議

11月9日に大阪で開催予定の国際会議に参加し以下の議案を討議する予定。

- 1) 「熱間成形圧縮コイルばね」DIS案の審議を実施。
- 2) 「ばね記号」のCD案の重点審議を実施。

(2) 三極国際ばね会議

4月14日に欧州ばね工業会連合（ESF）が持ち回りで主催するデュセルドルフでの国際ばね会議に出席し、ISO/TC227 ばねの進捗状況ほか標準化関連の情報交換を行う予定。